



旧陸上競技場敷地に

新しい市役所本庁舎を建設します

問い合わせ 本庁舎整備推進グループ (☎071098)

現在の市役所本庁舎は、昭和36年の建設以降、行政サービスや住民ニーズの多様化、事務量の増加などに対応するため増改築を行ってまいりましたが、経年による老朽化が進むとともに、耐震性を十分に確保できていないなど、多くの課題を抱えています。

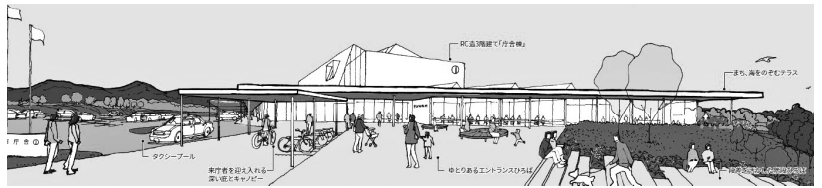
市は、市民の安全安心な暮らしを守り、市民生活を支え、行政活動を将来に渡り持続的に展開していくためには、市民に親しまれ、防災の要ともなる本庁舎を迅速に整備しなければならないとの認識の下、平成29年度から新たな本庁舎の整備に向けた取り組みを進めています。

新しい市役所本庁舎のコンセプト『市民の安全安心を守り、市民が集い、協働のための庁舎』と4つの基本方針の実現に向けて、市民の皆さんからご意見などをいただきながら、令和8年度の供用開始を目指します。

進捗の状況や今後の取り組みなどは、これからも市公式ウェブサイトや広報のぼりべつなどで、随時お知らせします。



▲市公式ウェブサイト



▲公募によるプロポーザルの最優秀者の提案内容

新しい市役所本庁舎の概要

コンセプト

市民の安全安心を守り、市民が集い、協働のための庁舎

4つの基本方針

- 1** 市民の安全安心を支える庁舎
- 2** 市民が集い、活用できる憩いの場となる庁舎
- 3** 誰もが利用しやすく、人や環境にやさしい庁舎
- 4** 使いやすく効率的な庁舎

建設場所 登別市千歳町3丁目1-5 (旧陸上競技場敷地)
敷地面積 33,214.13平方メートル
延床面積 おおむね7,600平方メートル程度
主な機能

- ユニバーサルデザイン
- ワンストップサービス窓口
- 市民が集い、活用できる場
- 総合的な子育て支援機能
- 分散化する部署の集約化
- 議会機能
- 防災機能
- 環境に配慮した庁舎
- 周辺環境との調和 など

総事業費 約53～62億円 (うち建築工事費約38～42億円)
 ※財源には、緊急防災・減災事業債、庁舎整備基金、地域脱炭素移行・再エネ推進交付金などの各種補助制度を活用します。

これまでの経過と今後の予定

- 平成29年度**
 - ・地区懇談会にて情報提供
 - ・市内関係団体への情報提供
- 平成30年度**
 - ・市民説明会 (市内4カ所)
 - ・『登別市本庁舎建設基本構想』策定
- 令和元年度**
 - ・地区懇談会にて情報提供
 - ・『登別市本庁舎建設基本計画』策定
- 令和2年度**
 - ・国が新たな津波浸水想定を発表
- 令和3年度**
 - ・建設予定地を現在地から幌別地区の高台、旧陸上競技場に変更
 - ・市内関係団体への情報提供および意見交換会
 - ・地区懇談会にて情報提供
 - ・『登別市本庁舎建設基本構想(改訂版)』策定
 - ・『登別市本庁舎建設基本計画(改訂版)』策定
- 令和4～5年度**
 - ・基本設計
 - ・実施設計
- 令和6～8年度**
 - ・建設工事
 - ・外構工事
- 令和8年度**
 - ・供用開始

新しい本庁舎の建設に関わるトピックス

本庁舎整備推進室を設置しました

市の各部署が連携し、新庁舎の建設だけではなく、幌別地区のまちづくりを一体的に推進するため、本庁舎整備推進室を設置しました。

同推進室は、新庁舎に配置する機能の検討や庁舎移転後の現庁舎敷地の利活用の調査・検討などについて取り組んでいます。

公募によるプロポーザルを実施しました

本庁舎建設基本設計・実施設計等業務の受注候補者を選定するため、公募によるプロポーザルを実施しました。

6月5日には市民会館で技術提案者6者による公開プレゼンテーションとヒアリングを行い、『本庁舎建設基本設計・実施設計等業務プロポーザル選定委員会』の審査により、最優秀者と優秀者をそれぞれ1者選定しました。

最優秀者(受注候補者) 株式会社アトリエブク
優秀者(次点者) 株式会社久米設計札幌支社

